

「こんなに能力が高いのか」、採用前の不安が一転。世界を知る発想力と理解力でチームに欠かせない一員に。



工機技術部 設計5課

ゴービンダラージュ・ゴータム (26才)  
Govindaraj Gowtham

●インド出身 ●アンナ大学出身 ●入社4年目  
●担当業務:工作機械製造における仕様調整、設計

## 真のグローバル企業としての、高度外国人材採用。

自動車エンジンの加工を行う機械など、高精度な工作機械の製造を中心に行うホーコス株式会社。日本の全自動車メーカーのみならずアメリカやヨーロッパ、韓国などの各メーカーを顧客に持ち、海外からの来客も多い。縮小傾向にある日本の市場より海外展開に力を注ぐという会社の方向性もあり、「グローバル」は常に意識してきた言葉だ。一方で、広島県ものづくりグローバル人財育成協議会の制度を紹介されるまでは、高度外国人材を採用したことは無かったのだという。

「率直に言って『こんなに能力が高いのか』と驚いた、の一言です」と、人事部次長石黒宏哉氏は、同社初めての高度外国人材となったゴービンダラージュ・ゴータムさんについて表現する。同社が製造する工作機械は、顧客のニーズを反映したオンリーワンの製品。企画段階から設計、組み立てに至るまで顧客との綿密なやり取りが必須であり「お客様と一緒に商品をつくりあげていく」というマインドでの仕様調整が必要になる。工作機械の構造を熟知し、顧客の要望を確実に理解して詳細に至るまで意見を交わし、それを設計や製造に落とし込んでいく。この同社の要となる業務を、語学力から海外市場動向の理解に至るまで、いくつものプラスαと共にできる人材、それがゴータムさんだった。

2020年度には、さらにインド、台湾、タイ出身の3人の高度外国人材を採用した。「外国人の社員も日本人の社員と同様に扱う、というのが基本方針ですが、業務に関しては違います。高度外国人材には、世界を知るからこそその発想力と理解力がある。その個性を活かすには、基礎教育に時間をかけるよりもできるだけ実践に近い部分で早くから活躍してもらいたいし、彼らの働きがいもそこにある。技術力はその中で磨きをかけていかなければ」。

## 工作機械への熱い思いとグローバルな視点・発想力で、チームの即戦力に。

- 「なんて面白そうなんだろう!」色褪せない思いとともに、大好きな工作機械に囲まれる日々。

インドでは、機械工学を専門に工作機械について研究していたゴータムさん。大学院での海外留学を考えていた時に、広島大学大学院への奨学金制度について知った。「日本といえば自動車、そして大学で学んだ『5S』の国。日本のものづくりを、現地で学びたいと思いました」。

広島大学大学院では、研磨機の研究に没頭。「とにかく工作機械が大好きで…」と照れながら笑顔を見せるゴータムさんがホーコス株式会社に就職することになったのは運命とも言えるが「インターンに来た時に設計を見学させてもらったら、2次元ではなく3次元のCADで設計を行っていて『なんて面白そうなんだろう!ここで働きたい!』と思いました」。当時は3次元CADでの設計が、まだ広く普及していない時期。それがすでに導入されていたことに先進性と「これからも成長していく会社だ」という確信を感じ、就職を決めた。初めての外国人社員ということもあり当初は緊張していたものの、外国のお客様も多いこともあり社内の雰囲気はグローバルで、すぐに打ち解けることができたという。

一方、設計ソフトの言語が全て日本語だったりとハード面のグローバルはこれからの状態だったため、

### ●夢は、部品から自分で設計した究極の工作機械をつくること。

「これからも、インドだけではなくて、色々な国の人とも仕事をしていきたいです。そのためにも、日本の技術をしっかりと学んでおきたい」とうなずくゴータムさんだが、一番の夢をたずねると「もっとスキルアップして、世の中にまだ存在しない、部品から自分で設計して、作って、組み立てる究極のオンリーワンの工作機械をつくること」だという。大好きな工作機械に囲まれて、ゴータムさんの勉強と挑戦は続く。



日本語に関しては苦労も。しかし、設計担当や組み立て担当などとチームで仕事を行う体制は言語面においてもサポートが受けやすく、「アイデアを出し合う機会もあるし、良い意見を言えば採用してもらえる」フットワークがあり、苦労以上のやりがいを感じて仕事にのぞむことができた。

現在は技術チームの一員として、3DCADなどのソフトで工作機械の設計を行ったり、高い語学力と工作機械に関する専門知識を駆使して国内外の顧客との仕様調整を行うなど、会社になくてはならない存在として活躍する。「人とのコミュニケーションが元々好きな性格なので、そこで英語も活かすことができ、楽しく仕事ができます。何より毎日、大好きな工作機械を通じて日本のものづくりを学ぶことができるんです。満足しています」。



人事部次長 石黒 宏哉氏

ゴータム氏

### 企業メッセージ

広島県ものづくりグローバル人財育成協議会の制度を紹介された当時の弊社は、高度外国人材の採用が社の未来に不可欠だとわかっていたからきっかけが掴めない状況でした。制度を知ったことを契機に「まず一步踏み出してみよう」とゴータムさんを採用し、そこからの現在です。不安要素はたくさんあるかとは思いますが、まずは行動に移すことが大切です。この制度は、どうにか足を踏み出したその時に、安心感とともに手を引いてくれる存在だったと思っています。